

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第1分科会		
テーマ	高齢者・障害者福祉		
開催日	平成 26 年 5 月 30 日	検討回数	第4回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

- ・高齢者の生きがい、社会参加についての活動と問題点を出し合う。
- ・高齢者向け地域サロンの現状と課題。

2. 今回の討議した内容(報告)

地域の高齢者がその生活を豊かなものにするために、ボランティア活動や健康づくり、様々な活動を行っている。

①シニアクラブの活動について

・シニアクラブは各支部5支部に分かれ現会員は約100名。スポーツ・文化活動・フラダンス・旅行等の活動を行っている。月例会があり月の予定催事を告知している。1区は、ボランティア活動で神社清掃・保育園清掃を実施している。元気になってもらうシニアクラブでは、60歳代～90歳代の方たちが活動。現在はグランドゴルフが活発化していてゲートボールは衰退している。高齢化に伴い辞めていく人が多く新規加入者がいない。退会の理由は性格に合わないからと言うが再加入する人もいる。60歳は有資格者なので入会を勧めると、「まだ、資格がない」「現役で働いている」と言い、入会しないのが現状である。

課題: 高齢者が辞めていく。・何かしたい・家で黙っていることがつらい・寂しいという方が多い。近所同士で気楽に話すことができない方も多。そういった方にシニアクラブを活用していただきたい。

課題: 男性の80歳以降の世代は自分から外に出られないという移送の問題。・老人福祉センターは交通手段がないと利用ができないが送迎バスを活用している。各地区にみんなが集まれる場所が欲しい。

②地域サロンについて

・朝陽地区地域サロンでは、参加費300円でカラオケをしたり仲間と話したり午後のひと時を楽しめる。

課題: 一部の方は利用しているが利用者が少なくなかなか広まらない。※困っている人のために「街角なんでも相談所」を実施している。部屋提供もあり泊まりもできるので困った時は活用していただきたい。地域サロンの事業は、朝陽地区社協の委託事業としてNPOセブンエイチが行っている。

シニアクラブ・地域サロンの現状について話し合ったが、民生委員からは独居で徘徊している・買い物に行けなくて困っている・虐待を受けているという福祉・介護の相談が多いと言われた。老人福祉センターに新しいカラオケの機械が入りカラオケが充実し老人福祉センターの利用者も増えてきているということもわかった。また、小学生からお年寄りに対する声かけ運動をしていけばより一層お年寄りが元気になるのではないかという意見も出された。ひとりで家に閉じこもりがちのお年寄りにシニアクラブの勧誘や仲間と話ができる地域サロンの周知が必要ということで情報共有できたので、できることから声かけをしていきたい。

3. 次回の検討方針

5年後の八街市についてこうしていきたいというそれぞれが思っていることを話し合う。